

第1回 (7/7号)

水稻病虫害発生予察の結果について

今年も水稻の発生予察を行います。毎週火曜に巡回し、各地区の予察圃場を調査していきます。個人の圃場とは誤差もあると思いますが、管理の参考にして下さい。今回の予察では、天候が不安定だった為、生育調査を中心に予察巡回を実施しました。

①生育状況

どの地区も昨年と同程度の生育を確認できました。韮山地区は分けつ10本前後、長岡の小坂地区では分けつ数が20本弱、大仁の神島地区で25本前後と概ね中干しに入れる本数を確保出来ていました。山間地では中干しに入っている圃場も見られました。

②害虫状況

どの地区においてもジャンボタニシの発生が確認されています。対策をしていない圃場での発生密度の増加が見られます。ピンク色の卵が多く見られる周辺では食害も確認されました。まずは、自身の圃場に発生が無いかを確認下さい。ピンクの卵が見られた際には捕殺し、下記の薬剤等で成貝の数を減らす対策を検討下さい。※卵には毒（成貝には線虫）があるので、素手で触れないようにして下さい。

○スクミノン粒剤（殺虫剤） 1～4kg 湛水状態で散布。散布後7日は落水しない。
※写真はいずれも伊豆の国市内で撮影したものです。



③その他

いくつかの圃場でコナギやオモダカ等の雑草の発生が確認されました。

除草剤やジャンボタニシの対策をまとめた「水稻栽培資料」を各支店やセンターで配布しております。ご来店の際にお受け取り下さい。

問い合わせ：韮山営農センター 西島・田中 055-949-0055
※JA伊豆の国ホームページでも確認頂けます。